

分類【 副作用・アレルギー発現の可能性 】



「バイアスピリンとエフィエントが初めて処方された患者からアスピリンの副作用歴を聴取した。薬剤師として判断すべきこととは？」

医薬品名：(右) バイアスピリン錠 100 mg
(左) エフィエント錠 3.75 mg

2015 年 11 月 11 日
85 歳 男性 循環器科

処方内容 (疑義照会前)

バイアスピリン錠 100 mg	1 錠	1 日	1 回	朝食後	28 日分
エフィエント錠 3.75 mg	1 錠	1 日	1 回	朝食後	28 日分

※アスピリンでぶつぶつ（発疹）が出たことがあることと、エフィエント錠が初回服用であることを聴取した。

発生時点：投薬時

情報源：患者訴え

疑義が発生した理由

□患者は循環器科初受診であった。次回検査入院するということで新規処方の内服が開始となっていた。代理で受取りに来られた奥様より「以前粉のアスピリンでぶつぶつが出来たことがあり、A 病院でアスピリンは飲んではいけませんと診断を受けました。先生にはお話しはしていません。」と聴取した。

□エフィエント錠（一般名：プラスグレル）の『用法・用量に関する使用上の注意』において、アスピリン（81 mg - 100 mg /日）と併用すること、『用法・用量』において、通常、成人には、投与開始日にプラスグレルとして 20 mg を 1 日 1 回経口投与し、その後、維持用量として 1 日 1 回 3.75 mg を経口投与するとの記載がある。

□今回処方薬のバイアスピリン錠（一般名：アスピリン腸溶錠）で薬疹が出る可能性がありその旨を患者は処方医へは伝えていないということ、更にエフィエント錠の初回投与における用法・用量が添付文書の記載と異なるということから疑義照会を行った。

患者との会話

薬剤師：それでは今回飲むお薬についての説明をさせていただきます。本日、循環器科より処方されたお薬は初めて飲むお薬でしょうか？



患者家族：はい。見たことのない薬ですので初めてです。今度検査入院をすることになったのでお薬が出たのだと思います。

薬剤師：先生からはどのように飲むよう言われていますか？本日、病院で他にお薬は飲んだりしましたか？



患者家族：このお薬を入院するまで飲んでくださいと言われてます。病院で他にお薬は飲みませんでした。

薬剤師：そうなんですね。以下省略
(薬剤情報提供書を用いて患者家族へ説明)



患者家族：すみません、お薬の名前にバイアスピリンと書いてありますね。30～40年ほど昔の事なのですが粉のお薬のアスピリンでぶつぶつが出来たことがあるんですよ。それでA病院でアスピリンは飲んではいけないと言われてそれ以来そのお薬は飲んでいません。このお薬はアスピリンという名前が入っていますが飲んで大丈夫でしょうか？

薬剤師：粉のアスピリンで体調を崩された事があるんですね。本日処方されたバイアスピリン錠というお薬なのですが、以前体調変化を起こしたことがある成分と同じ成分が含まれています。主治医にその事はお伝えされていますでしょうか？



患者家族：いいえ、お話しはしていません。

患者家族：そうでしたか、お伝えはされていないんですね。バイアスピリン錠の服用で、以前と同じようにぶつぶつが出来る可能性が高いと思われまます。主治医にこの処方内容でよいか確認いたしますので、お掛けになって少々お待ちください。



疑義照会の会話

薬剤師：お忙しいところ恐れ入ります。市薬薬局の薬剤師、△△と申します。本日、処方せんを受け付けました〇〇様の処方内容について確認したいことが2点ございますがよろしいでしょうか。
まず1点目ですが、患者様ご家族より「以前粉のアスピリンでぶつぶつが出来たことがあり、A病院でアスピリンは飲んではいけませんと診断を受けました。」と聴取いたしました。その際に今回処方を出された先生へ報告はしていますかと確認した所「お伝えしていません」との返答がございました。



医師：確かにそのような話は聞いていませんでした。報告ありがとうございます。ではバイアスピリン錠は中止でお願いしま

薬剤師：分かりました。それでは、今回バイアスピリン錠が使用出来ない様であれば、エフィエント錠の単独での使用になりますが処方内容についてのご確認をお願い致します。





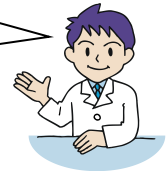
医師：本来エフィエント錠はアスピリンと併用が原則ですが今回はエフィエント錠の単独での投与ということにしましょう。

薬剤師：分かりました。2点目ですが、エフィエント錠の添付文書において初回投与は 20 mg を 1 回経口投与しその後 1 日 1 回 3.75 mg での投与となっておりますが 3.75 mg での用量での服用開始でよろしいでしょうか？



医師：用量に関しては 3.75 mg での服用開始で特に問題ありません。

薬剤師：分かりました。では、バイアスピリン錠は中止しエフィエント錠 3.75 mg のみでの処方よろしいでしょうか？



医師：そうですね。ではバイアスピリン錠は中止、エフィエント錠 3.75 mg 1 錠 1 ×朝食後のみの処方に変更してください。〇〇様にも説明をお願いします。

薬剤師：わかりました。〇〇様にその様に説明致します。お忙しいところありがとうございました。失礼致します。



疑義照会後の処方

処方内容 (疑義照会后)

エフィエント錠 3.75 mg 1 錠 1 日 1 回 朝食後 28 日分

その他特記事項

□エフィエント錠は通常、投与開始日にプラスグレルとして 20 mg を 1 日 1 回経口投与するとされるが、PCI 施行前に本剤 3.75 mg を 5 日間程度投与されている場合は

[販売名] エフィエント錠 3.75 mg

[一般名] プラスグレル塩酸塩

[効能・効果]

経皮的冠動脈形成術（PCI）が適用される下記の虚血性心疾患
急性冠症候群（不安定狭心症、非 ST 上昇心筋梗塞、ST 上昇心筋梗塞）
安定狭心症、陳旧性心筋梗塞

[用法・用量]

通常、成人には、投与開始日にプラスグレルとして 20 mg を 1 日 1 回経口投与し、その後、維持用量として 1 日 1 回 3.75 mg を経口投与する。

[用法及び用量に関連する使用上の注意]

- 1.アスピリン（81－100 mg /日、なお初回負荷投与では 324 mg まで）と併用すること。
- 2.ステント留置患者への本剤投与時には該当医療機器の添付文書を必ず参照すること。
- 3.PCI 施行前に本剤 3.75 mg を 5 日間程度投与されている場合、初回負荷投与(投与開始日に 20 mg を投与すること)は必須ではない(本剤による血小板凝集抑制作用は 5 日間で定常状態に達することが想定される。)
- 4.空腹時の投与は避けることが望ましい(初回負荷投与を除く)。

〈用法・用量に関連する使用上の注意の解説〉（抜粋）

日本循環器学会によるガイドラインでは、PCI 施行患者へのチエノピリジン系の抗血小板薬の使用はアスピリンとの併用投与として推奨されている。本剤の臨床試験においても、アスピリンを併用していることから、本剤投与時には、アスピリンと併用すること。

[作用機序]

プラスグレル塩酸塩はプロドラッグであり、生体内で活性代謝物に変換された後、血

血小板上のADP受容体P2Y₁₂を選択的かつ非可逆的に阻害することで血小板凝集を抑制する。

《主な抗血栓・抗凝固薬一覧》

	商品名	成分名	作用機序	用法・用量
抗血小板薬	バファリン A	アスピリン ダイアルミネート	COX 阻害薬	1回1錠（アスピリンとし81mg）を 1日1回経口投与 最大324mgまで
	バイアスピリン	アスピリン	COX 阻害薬	100mgを1日1回経口投与 最大300mgまで
	パナルジン	チクロピジン	ADP 受容体拮抗薬	200～300mgを2～3回に分けて 食後に経口投与
	ブラビックス	クロピドグレル	ADP 受容体拮抗薬	75mgを1日1回経口投与
	エフィエント	プラスグレル	ADP 受容体拮抗薬	投与開始日：20mgを1日1回経口投 与、維持量：1日1回3.75mgを 経口投与
	プレタール	シロスタゾール	PDE 3 阻害薬	1回100mgを1日2回経口投与
	ペルサンチン アンギナール	ジピリダモール	PDE 5 阻害薬	300～400mgを3～4回に分割経口 投与
	オパルモン	リマプロストアル ファデクス	PGE ₁ 誘導体	1日30μgを3回に分けて経口投与
	プロサイリン ドルナー	ベラプロスト	PGI ₂ 誘導体	1日120μgを3回に分けて食後に 経口投与
	アンブラーグ	サルボグレラート	セロトニン5-HT ₂ 受容体拮抗薬	100mgを1日3回食後に経口投与
	コンプラビン	クロピドグレル アスピリン	ADP 受容体拮抗薬 COX 阻害薬	1日1回1錠（クロピドグレ75mg及 びアスピリン100mg）を経口投与
タケルダ	アスピリン ランソプラゾール	COX 阻害薬 PPI	1日1回1錠（アスピリン100mg・ラ ンソプラゾール15mg）を経口投与	
抗凝固薬	ワーファリン	ワルファリンカリ ウム	抗ビタミン K 薬	1日1回1～5mgを経口投与
	プラザキサ	ダビガトラン	トロンビン直接阻害薬	1回150mgを1日2回経口投与 維持量：1回110mgを1日2回経口 投与
	リクシアナ	エドキサバン	直接 Xa 阻害薬	体重60kg以下：30mg、体重60kg超： 60mgを1日1回経口投与

	イグザレルト	リバーロキサバン	直接 Xa 阻害薬	<p>【非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制】</p> <p>15mg を 1 日 1 回食後に経口投与</p> <p>【深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症の治療及び再発抑制】</p> <p>初期 3 週間は 15mg を 1 日 2 回食後に経口投与、維持量：15mg を 1 日 1 回食後に経口投与</p>
	エリキュース	アピキサバン	直接 Xa 阻害薬	<p>【非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制】</p> <p>1 回 5mg を 1 日 2 回経口投与</p> <p>【静脈血栓塞栓症の治療及び再発抑制】</p> <p>1 回 10mg を 1 日 2 回、7 日間経口投与、維持量：1 回 5mg を 1 日 2 回経口投与</p>

<参考資料>

- ・エフィエント添付文書
- ・エフィエントインタビューフォーム
- ・エフィエント錠新医薬品の「使用上の注意」の解説
- ・循環器疾患における抗凝固・抗血小板療法に関するガイドライン（2009 年改訂版）
- ・今日の治療薬 2015